

感染防止安全計画

1. 開催概要

※「感染防止策チェックリスト」の開催概要の添付でも可

イベント名	第50回あつま田舎まつり	
出演者・チーム等	(多数のため収まらない場合 → 別途、一覧をご提出ください。)	
開催日時	令和4年7月30日(13時00分～20時30分) 令和4年7月31日(9時00分～15時00分)	
開催会場	厚真町表町 表町公園	
会場所在地	厚真町表町45番地	
主催者	厚真町田舎まつり運営実行委員会	
所在地	厚真町京町120番地	
連絡先	(電話 0145-27-2486、アドレス keizai@town.atsuma.lg.jp)	
収容率 (上限)	<input type="checkbox"/> 収容定員あり 100%	<input checked="" type="checkbox"/> 収容定員なし 人と人が触れ合わない程度の間隔
	いずれかを選択(いずれも大声がないことを担保)	
収容定員	屋外公園施設のため収容定員の記載が難しい。	
参加人数	R4年度の開催 5,000人(会場内同時利用上限数) ※従来は10,000人/1日延べのイベント	
対象者全員 検査の活用	<input type="checkbox"/> 緊急事態措置区域:人数上限10,000人を収容定員まで緩和	
ワクチン・検査 パッケージ 制度の活用	活用しない。	
その他 特記事項		

(※) 大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当するものとする。

2. 具体的な対策

①飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底

<チェック項目>

- ☑ 飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク（品質の確かな、できれば不織布）の正しい着用や大声を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる

（※）大声の定義は「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とする。

<具体的な対策>

<記載項目（例）>

- マスクを着用しない者や大声を出す者に対する個別注意等の具体的方法の検討・実施
 - マスクを着用しない者や繰り返し大声を発する観客の退場措置の事前準備・周知（チケット購入時の約款に明記等）。
 - 応援自粛に係るファンクラブ等との事前調整。
 - 警備員や映像・音声によるモニタリング、個別注意や退場の徹底のための実施計画。
- 新たな鑑賞・応援方式を根付かせるための取組の工夫（演者からの呼びかけ等）

（記載欄）

- （１）会場内、会場付近に注意喚起の看板を設置し、マスクの着用や大声の発声をしないよう周知する。
- （２）イベント開催中、開催本部からの連絡事項として場内アナウンスを定期的実施する（マスクの着用や大声の自粛等について）。
- （３）実行委員会職員による指導
注意喚起を行ったうえでもルールを守っていただけない方に対し、実行委員会職員による直接指導を行う。

②手洗、手指・施設消毒の徹底

<チェック項目>

- ☑ こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施）
- ☑ 主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施

<具体的な対策>

<記載項目（例）>

- 具体的な手洗場、手指消毒液の設置場所、準備個数等の検討・実施
- 施設内の消毒（箇所・頻度等）の計画の検討・実施
- アナウンス等での手洗・手指消毒の呼びかけ

（記載欄）

- （１）会場内、会場付近に注意喚起の看板を設置し、手指消毒等の基本的な感染対策の依頼について周知する。
- （２）イベント開催中、開催本部からの連絡事項として場内アナウンスを定期的実施する（手指消毒等のお願いについて）。
- （３）会場の入退場ゲートやトイレ等には、消毒液を設置し定期的に巡回や確認を行うことで、不足時の補充や共用で触れる可能性がある部分の消毒作業を行う。
- （４）トイレ、共用水道、入退場ゲート、飲食ブースの出入り口には、消毒液を設置する。

③換気の徹底

<チェック項目>

- ☑ 法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気（1時間に2回以上・1回に5分間以上）の徹底

<具体的な対策>

<記載項目（例）>

- 各施設の設備に応じた換気計画の検討・実施
 - 施設に備わっている換気設備の確認、その仕様を踏まえた適切な換気計画の策定。
 - CO2 測定装置による常時モニターや映像解析を活用した換気状況を確認するための手法の検討・実施。
 - 換気能力維持のための定期的な検査・メンテナンス。

（記載欄）

- （1）屋外の公園施設であることから、換気は対策は不要。

④来場者間の密集回避

<チェック項目>

- ☑ 入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施
- ☑ 休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や動線確保等の体制構築
- ☑ 人と人が触れ合わない間隔の確保

<具体的な対策>

<記載項目（例）>

- 開場時間の前倒しや時間差・分散退場の実施、交通機関との連携（駅付近の混雑度データを踏まえた増便等）による誘導計画
- 密になりやすい場所での足形マークの設置、マーキング、誘導員等の配置による誘導等の実施計画
- CO2 測定装置等を活用した混雑状況の把握・管理と適切な誘導
- 収容率を踏まえた、密集回避に適した観客席の座席配置の工夫

（記載欄）

- （１）入場ゲートと退場ゲートを分けることで、混雑を防止する。
- （２）同時に5,000人以上が場内に入らないよう入場者管理を行う。
- （３）入場ゲートや退場ゲート付近には、スタッフを配置し、円滑な入退場が行えるよう誘導を行う。

⑤ 飲食の制限

<チェック項目>

- ☑ 飲食時における感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底
- ☑ 飲食中以外のマスク着用の推奨
- ☑ 長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛（ただし、発声がないことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするため食事時間を短縮する等の対策ができる環境においてはこの限りではない）
- ☑ 自治体の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討）

<具体的な対策>

<記載項目（例）>

- 飲食可能エリアにおける飛沫感染等を低減する具体的な感染防止策の策定
- 飲食・アルコールを必要最小限に抑える方策の検討・実施
- 安全なイベント開催のための、飲酒による大声発生等の問題発生時には退場処分や酒類の提供中止等の対策を事前に周知

（記載欄）

- （１）ベンチ席の設置は一方の方向のみとすることで、飛沫対策を行う。
- （２）飲食ができるエリアを指定し、指定エリア以外で飲食をしない用スタッフ巡回の上、指導する。
- （３）会場内、会場付近に注意喚起の看板を設置し、マスク着用等、感染対策の依頼について周知する。
- （４）イベント開催中、開催本部からの連絡事項として場内アナウンスを定期的実施する（マスク着用について）。
- （５）安全なイベント開催のための、飲酒による大声発生等の問題発生時には退場処分や酒類の提供中止等を行う旨事前にHP等で周知する。

⑥出演者等の感染対策

<チェック項目>

- ☑ 有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する
- ☑ 練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する
- ☑ 出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く）

<具体的な対策>

<記載項目（例）>

- 日常から行う出演者やスタッフ等の健康管理方法の検討
 - 出演者やスタッフ等の必要に応じた検査の実施。
 - 健康アプリの活用等。
- 出演者やスタッフ等と観客の接触防止策（動線計画・ファンサービスの自粛等）の策定、出演者やスタッフ等及び観客双方への呼びかけ

（記載欄）

- （１）出演者等には、開催前１週間において発熱等の症状を有した者、又はその者と濃厚接触をしていると考えられるものは、当日の出演を断る旨を周知する。
- （２）出演者にはＣＯＣＯＡの登録をお願いするとともに開催前後１０日間の体調記録をお願いする。
- （３）出演者と来場者が接触しないよう、ステージと席の間にフェンス等を設置する。
- （４）当日は、出演者全員の検温を実施する。

⑦参加者の把握・管理等

<チェック項目>

- ☑ チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握
- ☑ 入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止
- ☑ 時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起

<具体的な対策>

<記載項目（例）>

- チケット購入時の参加者の連絡先把握
- COCOA や各地域の通知サービス等による来場者情報の把握・管理手法の確立（アプリ等の確実なダウンロードや来場者情報を把握するための具体的な措置の検討）
- 直行・直帰等のイベント前後の感染対策に関する具体的な措置
 - 会場での直行・直帰の呼びかけ。
 - 警備員による公共交通機関への誘導等。
- 検温・検査実施のための体制・実施計画
- 有症状者の入場を防止できるキャンセルポリシーの整備

（記載欄）

- （１）入場ゲートでの入場の際、入場者の氏名や連絡先等を記載してもらうことで、把握する（COCO A登録でも可）。
- （２）COCO Aの登録推奨を事前に行うとともに、会場付近等での周知看板でも周知を行う。
- （３）会場内では、定期的に基本的な感染対策について周知する。
- （４）入り口には、サーマルカメラを設置することにより円滑に検温するとともに、37.5度以上の発熱の可能性のあるものについては、別場所にて再度水銀計により計測を行う体制を構築する。
- （５）発熱等がある方には入場を断る旨を事前にHP等により周知する。

※提出時には、イベントのチラシや計画書等（既存資料）、参考とした業種別ガイドライン等も添付してください。

3～4は、該当する場合のみ記載してください。

3. ワクチン・検査パッケージ制度又は対象者全員検査等に関する実施計画

※緊急事態措置やまん延防止等重点措置の発令時に、人数上限を超えて、収容率100%での開催をしようとする場合に記載

※「ワクチン・検査パッケージ制度要綱」（令和3年11月19日新型コロナウイルス感染症対策本部決定）及び「ワクチン・検査パッケージにおける抗原定性検査の実施要綱」（令和3年11月19日付け事務連絡）及び「「ワクチン・検査パッケージ」の実施に係る留意事項等について」（令和3年11月19日付け事務連絡）を確認の上、下記の項目について、実施の有無をチェックしてください。

実施を予定している検査の内容について具体的に記載してください。

（記載欄）

「ワクチン接種歴」及び「検査結果」の確認方法について具体的に記載してください。

（記載欄）

抗原定性検査を実施する場合には、「ワクチン・検査パッケージにおける抗原定性検査の実施要綱」（令和3年11月19日付け事務連絡）に従い、適切に実施している。

その他の事項についても、「ワクチン・検査パッケージ制度要綱」に従い、適切に実施している。

4. 専門家との調整状況

※専門家の事前確認を受けた場合に記載

助言を受けた専門家：(所属)
(氏名)

主な助言内容：